

人権文化の花咲く西脇市を目指して

心豊かな生活を送るために、日々慌ただしく過ごす中でも、私たちは人権学習会や講演会などに参加し、自分の言動を振り返ったり、さまざまな人権課題に思いをはせたりする機会が必要なのではないでしょうか。

8月には「人権文化をすすめる市民運動」推進強調月間講演会を市内各地区で開催しました。人数制限をなくしての開催は4年ぶりです。昨年度からは新たにオンライン配信を始め、今年も多くの方に視聴いただきました。今年もオンラインで参加された方のうち、40代以下の方の割合が約半数を占め、若い世代の方へも波及していると感じています。このように幅広い世代への参加が広がっていることは、人権意識の向上にもつながり、大変うれしく思います。

また、西脇市と西脇市人権教育協議会が、人権啓発を始めて半世紀がたちます。これらの活動はすぐに成果が出るものでもなく、効果自体



も明確には分かりません。

このような中で、人権尊重の精神が文化として地域に根差すには、地道で継続した活動が大切です。オンラインで講演会に参加するなど、時代に合った方法も取り入れながら、世代を問わず人権について考える機会をつくることで、心豊かに輝いて生活できる地域づくりを目指していきたいと考えています。

11月18日(土)には、西脇小学校において「西脇市人権教育研究大会」を開催します。全体会では多様な性に関する基本的な知識などについての講演会のほか、分科会では学校園や地域、職場の取り組み報告があります。

多くの皆様のご参加をお待ちしています(19頁に関連記事)。

ふるさとの魅力再発見ーにしわき歴史探訪

喜多天満宮(黒田庄町喜多)

▼問合せ 郷土資料館(☎23-5992)

喜多天満宮は地元で「天神さん」と呼ばれるお宮さんです。創建は不明ですが、当初は西隣の地にあり、江戸時代初期に現在地に移ったと伝わります。祭神は天神さんである菅原道真公で、神社周辺は「天神森」と呼ばれていました。明治時代以降に開墾されました。古墳時代には多数の古墳が造られ、現在も境内に数基の古墳が現存しています。

拜殿は本殿の覆屋を兼ねる珍しい妻入縦長の建築で、収められている本殿は一間社の形式ながら非常に手の込んだ造りをしています。組物の飾りや虹梁、木鼻には大坂(当時)の大江・中川利兵衛によって竜や獅子、猊が彫られており、見る者を圧倒します。



拜殿兼覆屋に収められた本殿



本殿の彫刻



みんなでまちづくりー市民の皆さんのまちづくり活動ー

「頑張らない学校」で楽しい子育てを 市民提案型まちづくり事業採択団体の紹介

「ママのおへソスクール」は子育て中のママが悩みを話し合ったり、情報を共有しながら子育てが楽しくなる、親も子も「ホッとできる」居場所づくりを目指しています。

6月から月1回、「ママのための頑張らない学校」を開校。赤ちゃんの発達や子育てにかかるお金の話などをテーマに、その分野で活躍する講師を招いて授業を行い、たくさんのママが参加しています。



今後も、常に新しい学びの場と食育の時間を提供するため、授業内容を充実し安心して子育てできる居場所づくりに取り組もうと活動されています。

西脇の自然 596

タカノツメ

うごぎ科



落葉性の高木で、山地の林内や林縁で見られます。早春には短枝の先に3枚1組の葉が集まって付きます。この芽立ちの若芽は摘み取って、タラノキやコシアブラの芽と同様、山菜として食べられます。花は5月~6月ごろに咲き、実がなるのは秋です。

タカノツメと聞けば、なす科のトウガラシが思い浮かびますが、全く別の仲間です。先がとがって湾曲している冬芽の形が鷹の爪に似ていることから、「タカノツメ」と名付けられたといわれています。

秋終盤から初冬にかけて、葉は美しく黄葉し見応えがあるので、庭木として植栽されます。

【西脇市動植物生態調査研究グループ】

市長からの手紙

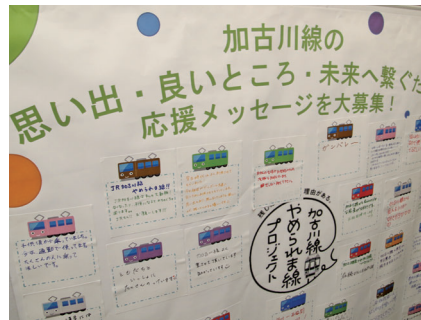
ー西脇を元気に!!ー



西脇市長 片山象三

未来につながる「鉄道のある暮らし」

明治5年、日本で初めて鉄道が開通したことを受け、10月14日は「鉄道の日」と定められました。その翌日の15日、一日の輸送密度10000人(西脇市駅~谷川駅間)を目指して「JR加古川線・乗って残そう乗車デー」を実施しました。当日は子ども連れのご夫婦、仲間同士などたくさんの方が乗車。真つすぐな線路を正面に、運転手気分の子どもたちの生き生きとした表情を見てうれしく思いました。



市民の皆さんから加古川線への熱いメッセージが寄せられています

8月には鉄道写真家・中井精也さんの講演会や、黒田庄駅で「レンタサイクル」を開始。10月には高校生が自転車に乗せて通学する「サイクルトレイン実証実験」を行いました。さらに、地元住民の方が「へソ・シティ・クラブ(HCC)」と銘打ち、鉄道の利用促進を目指すプロジェクトを始めた。西脇高校の生徒さんがデザインした期間限定で登場したりするなどの新たな活動も始まっています。スマートフォンを使って予約し、通勤や通学にレンタサイクルやサイクルトレインを利用する取り組みも夢ではないと思います。JR西日本さんには、通勤通学に利用しやすい「ダイヤ改正」や「ICカードの導入」などを求めています。鉄道を使う意識と行動で「鉄道のある暮らし」を守り、活力あふれるまち西脇市とともに創ってまいります。